

一般社団法人日本解剖学会 2023(令和5)年度第1回理事会（新旧合同）議事録

2023(令和5)年1月21日(土) 13:30~15:30
AP新橋（5階Jルーム）とZoomによるハイブリッド開催

出席者：渡辺 雅彦（理事長）、木山 博資、寺田 純雄、仲嶋 一範、福田 孝一（以上、常務理事）、天野 修、大内 淑代、大和田 祐二、尾崎 紀之、海藤 俊行、金井 克光、城戸 瑞穂、阪上 洋行、島田 昌一、徳田 信子、野田 泰子、菱川 善隆、堀 修、和中 明生（以上、理事）、八木沼 洋行（監事）、市村 浩一郎、大野 伸彦、竹林 浩秀（以上、常任幹事）、中村 聡、伊藤 杏佳（口腔保健協会）

陪席者：佐藤 真、篠田 晃、千田 隆夫、吉田 成孝（以上、次期理事）

欠席者：岡部 繁男（監事）

I. 渡辺理事長より挨拶があった。

II. 議事録署名人の選任

定款第39条に基づき、八木沼洋行監事が議事録署名人として選任された。

III. 会議記録の確認

以下の会議記録が確認された。

(1) 2022(令和4)年度第5回理事会（2022(令和4)年12月10日開催）議事録（案）

IV. 報告事項

1. 庶務報告

(1) 教授就任による代議員について

資料に基づき、教授就任に伴う以下の1件の代議員申請者について、常務理事会で承認され、定時社員総会に報告する旨が報告された。

戸田 伊紀 先生（大阪歯大・解剖学 令和3年4月1日就任）

(2) 年会費納入状況について（長期未納者の除名について）

資料に基づき、3年間未納者（43名）について報告された。3年未納者については、支部長からできるだけ会費納入の声かけを行うこととなった。

(3) 各種委員会報告について

資料に基づき、2022（令和4）年度における各委員会の活動内容が報告された。

(4) 2023(令和5)年度定時社員総会の資料作成について

資料に基づき、作成状況が報告された。

(5) 2023(令和5)年度定時社員総会の案内と書面表決状について

資料に基づき、案内状と書面表決状の内容が報告された。

(6) 男女共同参画学協会連絡会報告

資料に基づき、男女共同参画学協会連絡会 第21期第1回運営委員会の内容が報告された。

(7) 支部代議員会報告（関東・九州各支部）

資料に基づき、以下の支部代議員会の議事録が報告された。

・第110回関東支部学術集会内 代議員会（2022年10月1日、群馬大学）

・第78回九州支部学術集会内 代議員会（2022年10月29日、福岡大学）

(8) 会員専用ページ内での「解剖体取扱指針」「感染防御指針」等の閲覧について

資料に基づき、各大学での指針の作成に向けての参考とする情報共有のため、12月20日より解剖学会の会員専用ページ内で、一部の大学の指針が閲覧できるようにされていることが報告された。他にも良い指針があれば、追加してもらうように周知することなども提案された。

(9) その他

特になし。

2. 編集報告

(1) 解剖学雑誌98巻1号の構成について

資料に基づき、解剖学雑誌98巻1号の構成（特集記事、追悼文、奨励賞受賞者紹介）が報告された。

- (2) 国際解剖学用語に関して
資料に基づき、国際解剖学用語において現在混乱が生じていることが説明され、解剖学会・解剖学用語委員会の今後の対応について報告された。
- (3) その他
特になし。

3. 企画・渉外報告

- (1) 2023(令和5)年度第128回総会・全国学術集会準備状況について
資料に基づき、理事会での承認を経て懇親会を対面で開催することやLate breaking抄録の募集を行っていることなどが報告された。
- (2) 2024(令和6)年度第129回総会・全国学術集会準備状況について
資料に基づき、大会テーマが決定し、プログラム、ホームページの内容について検討が進んでいることが報告された。
- (3) 認定二級技術者審査結果について
資料に基づき、1名の合格判定があったことが報告された。
- (4) 賞・研究費候補者選考委員会報告
 - ・日本解剖学会奨励賞選考：
資料に基づき、選考の経緯などが報告され、4名を受賞者として推薦することが報告された。
 - ・日本医学会「基礎部会ライジングリトリート」参加者選考：
資料に基づき、6名を候補者として推薦することが報告された。
- (5) 日本医学会・日本医学会連合報告
資料に基づき、日本医学会分科会用語委員会（1月26日開催予定）に尾崎解剖学用語委員が出席予定であることが報告された。また、日本医学会連合会加盟学会連絡協議会（2月10日開催予定）に木山常務理事が出席予定であることが報告された。
- (6) 生物科学学会連合報告
オンライン学会での講演内容等をデジタルアーカイブ化する場合に生じる著作権の問題に関して各学会から意見聴取が行われていることが報告された。
- (7) 日本脳科学関連学会連合報告
資料に基づき、第26回評議員会（12月25日開催、寺田常務理事出席）の内容が報告された。
- (8) 若手研究者の会について
若手研究者を対象としたアンケート調査が行われたことや執行部が交代予定であることが報告された。
- (9) 国際渉外関係について（KAA、APICA、IFAA等）
資料に基づき、第10回APICAはオーストラリア・ニュージーランドの合同開催として、2023年11月30日（木）～12月3日（日）にダニーデン（ニュージーランド）で開催予定であることが報告された。
- (10) その他
特になし。

4. 会計報告

- (1) 2022(令和4)年度支部学術集会収支報告（関東・近畿・九州各支部）
資料に基づき、以下の各支部の収支報告があった。
 - ・第110回関東支部学術集会（2022年10月1日）
 - ・第98回近畿支部学術集会（2022年12月20日）
 - ・第78回九州支部学術集会（2022年10月29日）次年度以降の収支報告書の様式について、若干の修正（備考欄を内訳と記載）することとなった。
- (2) 2022(令和4)年度決算書概要(案)について
資料に基づき、令和4年度の収支決算報告書案の概要に関する報告があった。特に、COVID-19感染拡大に伴うオンライン開催や派遣の見送りに起因する予算からの乖離について説明があった。
- (3) ホームページアクセス数について
現在、資料作成中であることが報告された。

- (4) その他
特になし。

5. 理事長報告

(1) 日本外科学会CST推進委員会報告

資料に基づき、令和4年度第1回CST推進委員会（2023年1月10日開催）についての報告がなされた。本年度のCST報告が日本外科学会、日本脳神経学会、日本整形外科学会、日本口腔外科学会の各領域からなされ、2月にも4領域の報告が予定されていることが報告された。

(2) 日本学術会議「未来の学術振興構想」について

資料に基づき、日本解剖学会、日本生理学会、日本薬理学会の3学会で「ワンヘルスの実現に向けた生命科学研究のサステナブル循環システムの構築」がまとめられて日本学術会議に提出されたことが報告された。

(3) 解剖体の取り扱いに関わる不適切事案対応と日本解剖学会・篤志献体全国連合会共同声明文

資料に基づき、解剖体取扱い不適切事案の再発防止に向けての共同声明文発出について意見を伺い、文言の修正、解剖体を用いた教育の重要性への言及、教員と技術職員の両者の充実などの必要性について、意見が出された。

- (4) その他
特になし。

V. 審議事項

1. 2023(令和5)年度予算(案)について

資料に基づき、令和5年予算案が承認された。

2. 永年会員の推薦について

資料に基づき、希望する会員（12名）の永年会員への推薦が承認された。

3. 次期理事会への申し送り事項について

資料に基づき、理事長から次期理事会への申し送り事項の説明がなされた。

4. 次回理事会・常務理事会・支部長会・各種委員会の日程・議事について

資料に基づき、2023年3月17～19日の理事会・常務理事会・支部長会・各種委員会の日程などについて、確認された。

5. その他

次回の理事会は、3月17日(金)16:50～18:30に東北大学星陵キャンパス医学部6号館にて開催することが確認された。